

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-504801(P2011-504801A)
 【公表日】平成23年2月17日(2011.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報2011-007
 【出願番号】特願2010-535298(P2010-535298)
 【国際特許分類】

B 0 5 C 5/04 (2006.01)

【F I】

B 0 5 C 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月25日(2011.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シリンダ状の収容スペースと、軸方向の上面(24')および軸方向の下面(24'')
)を有しかつ弾力性があり柔軟性のある材料からなるピストン式ワイパプレート(24)
を有する押しピストン(22)の形態をとる、前記収容スペースの中で軸方向に移動可
能な押し手段と、を有し、

非圧縮状態で前記ワイパプレートの周りにしっかりと連なっている放射状に外側のスク
レーパ縁部(24A)を有し、

固形の作業物質を溶融するための押し側部加熱領域を有する、

復元可能に再装填できる袋用溶融装置(10)であって、

前記ワイパプレート(24)は、自らの軸方向の上面および/または自らの軸方向の下
 面におよび/または自らの軸方向の上面と下面との間に挿入されており、かつ前記ワイパ
 プレートの少なくとも1つの径方向の圧縮を可能にする少なくとも1つの開口部(24C
 , 24D)が設けられていること、および

前記開口部(24C, 24D)へは、少なくとも1つの膨張可能な復元要素(25)が
 挿入されておりまたは挿入可能であることを特徴とする袋用溶融装置(10)。

【請求項2】

前記少なくとも1つの開口部(24C, 24D)は、放射状であることを特徴とする請
 求項1に記載の袋用溶融装置。

【請求項3】

径方向に延びており、ギャップによって互いに分けられており、かつ少なくとも自らの
 径方向の外縁で繋がっている複数の円弧が設けられていることを特徴とする請求項1また
 は2に記載の袋用溶融装置。

【請求項4】

前記復元要素は、ゴム弾性的な材料を有することを特徴とする請求項1ないし3のい
 ずれか1項に記載の袋用溶融装置。

【請求項5】

前記復元要素は、前記少なくとも1つの開口部と実質的に同形に形成されていることを
 特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載の袋用溶融装置。

【請求項6】

前記収容スペースから押出し可能な作業物質（１６）のためのシリンダ状の収容スペース（１２）の挿入口に、挿入用錐形部（１２Ｃ´）が設けられていることを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の袋用溶融装置。